

7. 事故種別対応策

(1) 共通事項

- ・情報は全て本部に報告すること。
- ・本部では、情報書(様式1, 2, 3)に沿って情報を聞き取ります。
- ・当事者、発見者、現地スタッフが、状況に応じて警察や消防へ連絡するとともに、大会本部へ連絡すること。必要に応じて、本部から家族等へ連絡し適切に対応します。
また、参加者が病院へ搬送される場合は、搬送先までついていき、大会本部に逐次状況報告を。
- ・第1発見者は、事故発生現場で連絡がとれる状態で待機すること。
- ・交通整理等でスタッフ等が必要な場合は、大会本部に依頼すること。

(2) パンク・メカトラブル

基本的に自己責任のため、自分で修理。自分で修理できず走行できない場合は...

ア) 居合わせたスタッフが対応できる場合は手伝い可。

ただし替えチューブを使用する場合はチューブ代を請求すること(1000円)、
持ち合わせが無い場合は、ゴール後本部へ行き支払うよう指示。

イ) シマノメカニックサービスによる修理

(3) 転倒

怪我の状況を確認。

ア) なし...走行の場合、コース復帰指導。

イ) 軽傷...走行の場合、コース復帰指導。各エイドの救護員治療紹介。
走行×の場合、大会本部に報告リタイヤ。

ウ) 重傷...救急車手配。搬送病院確認。大会本部報告。
自転車は回収車により会場まで搬送。

エ) 重体...救急車手配。搬送病院確認。大会中止検討。
自転車は回収車により会場まで搬送。

(4) 衝突

怪我の状況を確認。転倒と同様に対応。

破損物等あれば、清掃等の除去作業を行うとともに、管理者を特定させる。

(5) 対人・対車両

発見したら警察および本部に通報。けがの程度により救急車を手配する。

警察・消防到着までの間、交通整理や応急救護など必要と思われる対応をとる。

警察・消防が到着したら、状況の説明など協力する。

(注意) 事故の処理は、あくまで当事者間の問題なので、口を挟んではいけない。

怪我の状況により、下記の対応を取る。

(本人)(怪我レベルに関わらず走行中止)

ア) なし・軽傷...回収車で搬送。最寄りのエイドで手当てをした後本部へ。

イ) 重傷...救急車手配。搬送病院確認。

自転車は回収車により会場まで搬送。

ウ) 重体...救急車手配。搬送病院確認。大会中止検討。

自転車は回収車により会場まで搬送。